

受託研究成果報告会
『オブジェクト指向コストモデルによる
原価管理ソフトの概要』

2005年12月20日

一橋大学 尾畑 裕

1

プロトタイプが目指したもの

- 1) マネジメントの視点と、現場の視点をつなぐミクロ・マクロループを原価計算システムとして構築する
- 2) 他のシステムとの情報の受け渡しを容易にするためにXMLベースの原価計算システムを構築する。

2

ミクロ・マクロループ

基本的な考え方

- マネジメントの視点と、現場の視点をつなぐミクロ・マクロループをつくる。
- 従来のしくみでは、現場のミクロの情報とマネジメントのマクロの情報の整合性がとれていなかったのが問題

3

廣本(2005)のマイクロ・マクロ・ループ

- 個々の組織構成員(マイクロ)と組織全体(マクロ)の関係性を作りだすメカニズムである。
- マイクロとマクロの間に流れる情報に焦点を当てている。
- マイクロとマクロの間に流れる情報には、各構成員の判断、価値観など概念的なものと、それら概念の結果としての行動に関する情報の2種類が含まれる。

廣本敏郎「マイクロ・マクロ・ループとしての管理会計」—
橋論叢、第134巻第5号(2005年11月)、pp.310-
340.

4

2つのマイクロ・マクロループ

- 1) 組織構造にしたがったマイクロ・マクロループ
部分組織の損益が全体の損益の一部になる
シンプルな仕組みの損益計算がよい
⇒京セラのアメーバー経営、時間当たり採算
- 2) 製品軸のマイクロ・マクロループ
製品原価の一工程の情報が、製品原価全体にどのようにつながるかが見える

5

- 経営者は、全体の情報からブレイクダウンして詳細な情報を見る

↓

その仮定で経営者として行うべき処策をシミュレートすることができるようなしくみが必要

6

マイクロとマクロの関連付けと、 マイクロ・マクロ・ループ間の関連づけ

- 今回のソフトでは、製品軸におけるマイクロとマクロの関連付けに重点をおいている。
- それだけでなく、2つのマイクロ・マクロ・ループを関連づけようとしている

7

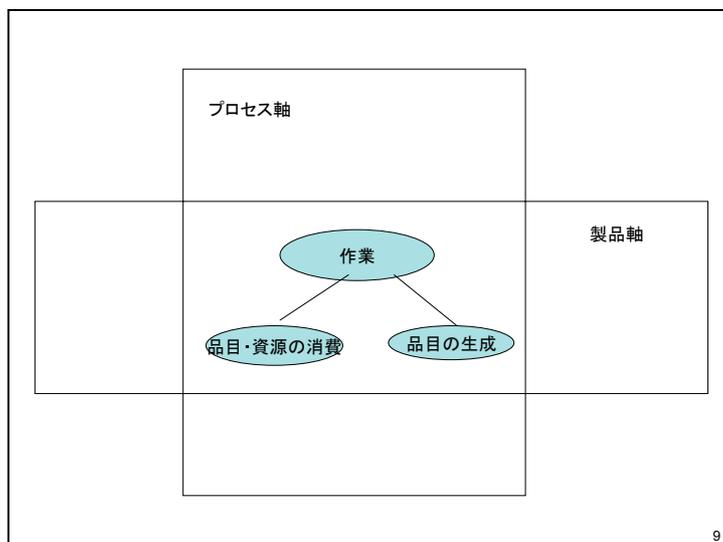
2つのマイクロ・マクロ・ループを 関連づける

- 組織構造にしたがったマイクロ・マクロ・ループと製品軸のマイクロ・マクロ・ループをつなげるには、同一作業を、両方のマイクロ・マクロ・ループに帰属させることが必要

↓

オブジェクト指向原価計算により実現

8



9

視点切り替え

- 消費オブジェクト、作業オブジェクトを共有することにより設備軸、プロセス軸と製品軸を自由に切り替えることができるようにする

10

あるプロセスにおける改善の効果はどのようにマクロに反映されるか

- あるプロセスにおける改善効果は、製品軸から見ると製品原価にどのような影響を与えるか
⇒ 製品軸からみた改善効果の財務的評価
- 全社的な損益にたいして、その改善効果はどのような影響をあたえるか
⇒ プロセス軸、設備軸からみた改善効果の財務的評価

11

プロセス軸に表れる改善効果の実現・未実現

- アイドル設備の利用時間を短縮しても、それはただちに利益の改善にはつながらない。
- しかし、改善により、設備軸からみて、設備の利用時間が短縮し、アイドル時間が増加したことは認識しなければならない。
- 未実現の改善効果をどうやって実現させるかは経営者の仕事
⇒ 経営者も原価モデルを体感すべき

12

今回製作したソフトの主な特徴

- 1) 製品軸、作業軸、設備軸の視点切り替え
- 2) 資源オブジェクト、作業オブジェクトの共有
- 3) 多様な、(ユーザー定義による)計算仮定、
計算方法の選択
- 4) XMLベースでのデータ登録、問い合わせ、
回答
- 5) GUIによるXML文の自動発行
- 6) XMLのHTMLへの変換によるブラウザ出力

13

ソフト利用の流れ

- 1) 登録データの作成 (XML文にて作成)
- 2) 計算条件のXML文による定義
- 3) GUIによる生産量入力
- 4) 計算条件選択、
- 5) 軸の選択、ツリー画面からのフォーカスオ
ブジェクトの選択
- 6) XML発行ボタンによりXML発行、スタイル
シートによるHTML自動変換⇒ブラウザ出力

14

【オブジェクト指向原価計算関係の文献】

- 尾畑裕稿「オブジェクト指向原価計算の基本構造」一橋論叢、
第128巻第4号(2002年10月)、402-418ページ。
- 尾畑裕稿「オブジェクト指向原価計算モデルによるリスクの
把握と管理－調達資材価格変動の潜在的リスクの把握と
ヘッジ利用に対する原価計画的Viewの提供について」一橋
大学大学院商学研究科編『新世紀の先物市場』東洋経済新
報社、2002年、第12章(pp.193-208.)
- 尾畑裕稿「コスト透明性とオブジェクト指向原価計算」JICPA
ジャーナル、No.570(2003年1月)、pp.54-59.
- 尾畑裕稿「21世紀型原価計算の展望」会計人コース、2004
年5月号、pp.4-9。
- 尾畑裕稿「コストマネジメントの新旧思考を統合するドメイン・
オブジェクト・モデルの提唱」會計、167巻第3号、2005年3月
号、pp.319-335。
- 尾畑裕稿「自律分散型組織と原価計算システム」企業会計、
2005年12月号、60-66。

15